







別記様式（第4条関係）

会議録

会議の名称	第4回加東市まちづくり推進市民会議																														
開催日時	平成26年2月28日（金）午後3時から午後5時まで																														
開催場所	加東市役所 2階 201大会議室																														
議長の氏名	（座長 梅野巨利）																														
出席及び欠席委員の氏名	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">＜出席委員＞</td> <td colspan="2">＜欠席委員＞</td> </tr> <tr> <td>・佐治真喜子</td> <td>・高瀬俊介</td> <td>・宮崎良平</td> <td>・前田友子</td> </tr> <tr> <td>・梅野巨利</td> <td>・稲岡みさ子</td> <td>・横山和夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・遠藤久男</td> <td>・大野美智子</td> <td>・小原秀司</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・近松照芳</td> <td>・豊福乃子</td> <td>・内藤直子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・永崎久雄</td> <td>・広畑恒子</td> <td>・藤本善仁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・増田正一</td> <td>・水口正昭</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			＜出席委員＞		＜欠席委員＞		・佐治真喜子	・高瀬俊介	・宮崎良平	・前田友子	・梅野巨利	・稲岡みさ子	・横山和夫		・遠藤久男	・大野美智子	・小原秀司		・近松照芳	・豊福乃子	・内藤直子		・永崎久雄	・広畑恒子	・藤本善仁		・増田正一	・水口正昭		
＜出席委員＞		＜欠席委員＞																													
・佐治真喜子	・高瀬俊介	・宮崎良平	・前田友子																												
・梅野巨利	・稲岡みさ子	・横山和夫																													
・遠藤久男	・大野美智子	・小原秀司																													
・近松照芳	・豊福乃子	・内藤直子																													
・永崎久雄	・広畑恒子	・藤本善仁																													
・増田正一	・水口正昭																														
出席した事務局職員の氏名及びその職名	<table border="0"> <tr> <td>・企画部</td> <td>部長</td> <td>芹生修一</td> </tr> <tr> <td>・企画部企画政策課</td> <td>課長</td> <td>小林勝成</td> </tr> <tr> <td>・企画部企画政策課</td> <td>副課長</td> <td>三木秀仁</td> </tr> <tr> <td>・企画部企画政策課</td> <td>主幹</td> <td>前中公和</td> </tr> </table>			・企画部	部長	芹生修一	・企画部企画政策課	課長	小林勝成	・企画部企画政策課	副課長	三木秀仁	・企画部企画政策課	主幹	前中公和																
・企画部	部長	芹生修一																													
・企画部企画政策課	課長	小林勝成																													
・企画部企画政策課	副課長	三木秀仁																													
・企画部企画政策課	主幹	前中公和																													
説明者として出席した市の職員	<table border="0"> <tr> <td>・技 監 松井三思呂</td> <td>・総務部長 吉田秋広</td> <td>・市民安全部長 阿江孝仁</td> </tr> <tr> <td>・福祉部長 大橋武夫</td> <td>・建設部長 利山尚由</td> <td>・地域整備部長 岸本敏弘</td> </tr> <tr> <td>・上下水道部長 岡田孝志</td> <td>・教育部長 村上秀昭</td> <td>・市民病院局長 中村 勇</td> </tr> <tr> <td>・会計管理者 山本貴也</td> <td>・市民安全部防災課長 中村隆文</td> <td></td> </tr> </table>			・技 監 松井三思呂	・総務部長 吉田秋広	・市民安全部長 阿江孝仁	・福祉部長 大橋武夫	・建設部長 利山尚由	・地域整備部長 岸本敏弘	・上下水道部長 岡田孝志	・教育部長 村上秀昭	・市民病院局長 中村 勇	・会計管理者 山本貴也	・市民安全部防災課長 中村隆文																	
・技 監 松井三思呂	・総務部長 吉田秋広	・市民安全部長 阿江孝仁																													
・福祉部長 大橋武夫	・建設部長 利山尚由	・地域整備部長 岸本敏弘																													
・上下水道部長 岡田孝志	・教育部長 村上秀昭	・市民病院局長 中村 勇																													
・会計管理者 山本貴也	・市民安全部防災課長 中村隆文																														
1 議 題	(1) 総合計画に関する意見に対する市の対応について																														
2 会議資料	(1) 総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応																														
3 会議の経過	⇒別紙「第4回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過」のとおり																														
平成26年4月24日	<table border="0"> <tr> <td>座長</td> <td>梅野巨利</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副座長</td> <td>高瀬俊介</td> <td></td> </tr> </table>			座長	梅野巨利		副座長	高瀬俊介																							
座長	梅野巨利																														
副座長	高瀬俊介																														

(別紙) 第4回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
事務局	<p>1 開 会</p> <p>第4回加東市まちづくり推進市民会議を始めます。委員の皆様にはご多忙の中 ご出席いただきありがとうございます。本日は前田委員が都合により欠席との連 絡をいただいております。永崎委員は後ほど会場にお越しになります。 梅野座長からごあいさつをいただきます。</p>
座長	<p>2 あいさつ</p> <p>みなさんこんにちは。新庁舎の竣工おめでとうございます。24日に引っ越し されてみなさんまだまだお忙しいところだと思います。すごくきれいで、我々は 感動しています。こういう美しい建物でこの会議を開催されますことを大変光栄 に思っております。先ほど事務局の課長・副課長に迎えむかえていただき、心な しかウキウキした表情で迎えていただきました。今日はたくさんテーマを審議 することになりますので、実質的に実りある議論が展開できるよう皆様のご協力 をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、昨年12月に委員の皆様から総合計画後期基本計画の進行管理等に関 するご質問やご意見をいただきました。本日は、それらに対して担当部長から、 回答並びに市の対応をご説明させていただくこととしております。ですから、前 回同様担当部長も出席をしております。 <会議進行を座長に引き継ぎ></p>
座長	<p>3 協議</p> <p>(1) 総合計画に関する意見に対する市の対応について</p> <p>次第に基づき、議事をはじめます。</p> <p>協議1番、総合計画に関する意見に対する市の対応についてです。前回、前々 回の市民会議の際にお願いしておりました意見シートから寄せられたご意見がお 手元にあります。これにつきまして各委員の皆様からのご意見やご質問をご提出 いただき、それに対する市の対応等を各担当部長から回答なり、市の対応をご説 明いただきます。</p> <p>政策ごとに説明をいただき、再度委員の皆様から質問やご意見をいただきなが ら進めたいと思います。</p> <p>まず、政策I『文化』に関して4件のご質問等をいただいておりますので、事 務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、委員の方々からいただいたご意見等につきまして、その内容を事務 局から朗読というかたちで発表させていただき、その後、担当部長から回答させ ていただきます。</p>

<p>部 長</p>	<p>＜事務局から資料1に基づき質問内容を朗読＞</p> <p>◎政策I『文化』 未来を拓く人を育む 文化のまち</p> <p>施策1 地域文化の継承・発展</p> <p>主要施策(1) 市民文化の創造の促進 に関する質問の回答</p> <p>民俗資料館等の資料の展示については、新庁舎のロビーやホールで公開することは可能と考えています。しかし、資料館は有料施設であり、その中のどの資料を展示するかは今後検討したいと思います。また、貴重な書や絵画、埋蔵文化財などもたくさん所蔵しており、その中から、一つずつ市民の方に見ていただけるように、今後このロビーを活用したいと考えています。今年度は、東条地域出身で、「農民詩人」の坂本遼氏生誕110周年です。加東市はその貴重な資料をたくさん持っていますので企画展を行います。その一部をロビーで公開します。セキュリティ上、本物は公開できませんのでコピーの公開となります。本来の『坂本遼展』は滝野図書館2階ギャラリーにて行いますので、その予告展としてロビーで行います。また、もう一点は、市の指定文化財については、8世紀から9世紀にかけて制作された貴重な木造増長天立像という仏像がございます。これは早稲田大学で数年かけて修復を行いました。これを滝野図書館ギャラリーで展示します。これも写真だけになるかと思いますが、庁舎ロビーでの展示を行う予定です。これら、庁舎ロビーを使った展示を企画したいと考えています。</p>
<p>部 長</p>	<p>施策2 国際交流の推進</p> <p>主要施策(1) 国際化施策の推進 に関する質問の回答</p> <p>在住外国人との交流については、加東市国際交流協会が、民間の推進団体としてお世話をいただいております。年に2回、会員向けの会報誌を発行しPRをして、公共施設に会報誌を置くことによって国際交流協会の活動をPRする機会を設けております。また、広報かどうにも話題によって掲載していただきますし、ケーブルテレビでも取材をして、どのような国際交流が展開されているかという番組を定期的にもっています。さらに日刊紙にも積極的に情報提供をすることによって加東市の国際交流事業を広いエリアでPRできるような取組をしています。国際交流はどのようなことをやっているかということをお知らせすることが一番の基本ですので、これからも十分配慮しながら交流機会を増やしていきたいと思っております。この4月から加東市国際交流協会はNPO法人になります。幅の広い交流活動がさらに展開されるのではないかと期待しています。</p>
<p>部 長</p>	<p>施策4 生涯学習の充実</p> <p>主要施策(1) 生涯学習を支える基盤整備 に関する質問の回答</p> <p>公民館やコミュニティセンターでのサークル活動について、指標にもありますようにサークル届出数は5年間でおよそ倍増しているという現状です。そして、公民館等のサークルについては、高齢者が多数を占められ、新しい会員募集についても公民館や「いざない」、また、市のホームページ等を活用し、募っています。また、数多くの高齢者大学の部活動育成にも力を入れ、パソコンやコーラス、銭太鼓等の文化クラブは積極的に活動されています。これからは、高齢者に対しての支援は当然のことながら、三世代での活動が出来る様なサークル活動も大切だと思っています。公民館活動は中間世代の参加が少ないので、26年度はギタ</p>

	<p>一教室や料理教室などを取り込んでいこうと考えています。</p>
部 長	<p>施策5 スポーツ・レクリエーションの推進 主要施策(1) 生涯スポーツ・レクリエーションの推進 に関する質問の回答 現在、市の生涯スポーツにおいては、技術向上も大切ですが、市民の健康増進がなければ当然技術向上はないということで、やはり市民の健康増進に重点を置いた活動を行う必要があると思っています。市主催の秋の「ふれあい球技大会」では、ゲートボール・グラウンドゴルフ・ペタンク・卓球といった比較的高齢者も参加できる競技（健康増進事業）も実施しております。</p> <p>また、今年度からパークゴルフ大会も開催したいと思っています。『加東市ふれあいパラリンピック』には市のスポーツ推進委員を派遣するなど、他の関係部局とも調整しながら、支えになっているのは事実です。</p>
部 長	<p>後期基本計画に掲載している指標の3つ目と5つ目については、市の取組の2つ目「グループや人材の育成と指導体制の充実」という項目を評価するのに重要な指標と捉えております。新たな指標については、別枠で設けることは可能と考えますので、今後事業を推進する中で複合的に評価できる指標の設定も検討したいと思います。</p>
座 長	<p>政策Ⅰに関して提出された4つの質問等について説明が終了しました。これらについて、追加の質問等はございますか。</p> <p><意見なし></p>
座 長	<p>後で何かあれば遡って質問、意見を出していただいで結構です。 政策Ⅱ『安全』に関して1件のご質問等をいただいでおりますので、事務局よろしくお願ひいたします。</p>
部 長	<p>◎政策Ⅱ『安全』人と自然が調和した 安全なまち 施策2 環境にやさしい暮らしづくり 主要施策(3) 廃棄物の減量・リサイクルの推進 に関する質問の回答 県下で1番となることができたのは市民の皆様のご理解とご協力があったの事であり、深く感謝しております。これからは1番を継続していくことが目標となってきます。加東市ごみ処理基本計画を推進し、市民・事業者・市が一体となって、さらなるごみの減量・資源化に取り組んでいきたいと考えていますので皆様のご協力をお願いいたします。</p>
座 長	<p>評価する意見でしたが、委員の皆様から、質問等はございますか。</p>
委 員	<p>雑紙（新聞でもなく広告でもない）のような分類が非常に難しいものは、量的にも非常に多いのですが、そういったものについて、今後どういった対応をされるのかという質問を前回投げかけたと思います。PTAや子供会などの各種団体は回収の対象になっています。従って、市としても大事なことなので、ことある</p>

<p>部 長</p>	<p>ごとに啓蒙はしているということは聞いています。それを実践に移すというところまで、もう一步進めていきたいと思っています。各学校を巡回して、特にPTAの資源ごみ回収にご協力をいただく計画を持っています。市としてもなお一層積極的に実践していただくことを望みます。</p> <p>エコ隊などの団体の皆様にはご協力いただいております。実際に雑紙は本や新聞にはさみ出すという出し方に手間がかかり、進んでいないというのが現状です。どのようにすれば資源ごみとして出せるのかということ具体的を示しながらPRをしていけたらと思います。参考にさせていただき担当課と協力してお願いしたいと思っています。</p>
<p>座 長</p>	<p>政策Ⅲ『安心』に関して3件のご質問等をいただいておりますので、事務局よろしくお願いいいたします。</p>
<p>部 長</p>	<p>◎政策Ⅲ『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち 施策2 健康づくりの充実 主要施策(1) 健康増進の推進 に関する質問の回答 サンサンチャレンジは市民一体となって楽しく健康づくりにチャレンジする市民運動です。達成率や事業の成果については資料のとおりです。 私も参加しており、食生活の見直しや検査数値が改善しており、今は基準内に入ってきている状況です。このチャレンジの成果を、身をもって体験した一人です。 この活動は、成果のみならず、健康維持に対する意識付けの場でもございます。ご意見を頂戴しましたように市民の皆さんと共により幅広く参加しやすい取組を考えて、市内スポーツ事業とも連携して検討していきたいと思っています。</p>
<p>部 長</p>	<p>施策5 医療の充実 主要施策(1) 地域医療サービスの充実 に関する質問(2件)の回答 北播磨医療圏域に、昨年10月に小野市民病院と三木市民病院が統合し北播磨総合医療センターができました。近隣には西脇市立西脇病院、加西市立加西病院があり、急性期を担う病院がたいへん充実してきたということは事実です。一方2025年度問題という団塊の世代が後期高齢者となる75歳を超えてきます。その高齢化率は2025年には65歳以上が3,600万人を超えます。2042年には3800万人を超えるというピークを迎えるなかで、加東市民病院としても、高齢化の進展を見据えた形で、医療を提供していく必要があるのではないかと考えています。「在宅医療」に重点を置いた医療を推進していこうと考えています。そして、高齢化に伴いまして、慢性期医療の必要性も考えて介護と連携した医療の需要がますます高まってくるとのではないかと考えています。新年度に向けて在宅医療を推進すること、そして高齢者の方を医療と介護の連携を強化して、最後まで支援していく体制を進めていこうということで、3月の議会でも改革を含めて提案を予定しています。 また、人間ドックについては、医師確保が困難な状況や限られた医療資源の中で、医療を提供していくのですが、現在加東市民病院も病・病連携をして、眼科・</p>

	<p>皮膚科等については近隣の西脇病院、加西病院から先生の支援を受けています。</p> <p>よって、人間ドックにつきましても、現在の1,100件から1,200件程度あり、先ほどの健康の関係からも検診事業は続けていくということで、医師の確保についても病・病連携等の関係で、近隣病院から検査業務の内視鏡検査等についてご支援をいただく方向で準備を進めています。一つの病院で完結するというのではなく、地域で完結する医療ということを進めていきたいと考えています。</p>
座長	<p>政策Ⅲに関して提出された質問等について説明が終了しました。委員の皆様から、再度質問等はございますか。</p>
座長	<p>私の感じたことですが、指標と目指すべき方向性とか特徴は在宅医療・介護になると思うが、指標にもそういうものが表れるのが適切だと思います。今の指標にはそれがないと思います。紹介率や逆紹介率といった指標より介護・在宅に関連した数値が挙がってくる方がふさわしいのではないかと感じました。</p>
部長	<p>確かに、在宅医療の指標はありませんが、現在考えているのが在宅医療を推進していくという中で、重要な業務の一つとして考えているのは訪問看護事業です。看護師が開業医や病院の指示を受けて家庭に訪問して看護し、看護と介護をつなげていくということも、4月からの体制整備で推進していこうと考えています。特に指標として加えるのであれば訪問看護件数ということも考えていこうと思っています。</p>
座長	<p>特色や役割を明確にするということで、こちらの回答で在宅介護を打ち出している以上はそれに見合った指標が何か一つでも入れればよいと思います。</p>
委員	<p>私も病院にかかっています。私の息子も北播磨総合医療センターで仕事を持っているのですが、今すごい勢いで北播磨総合医療センターの方へ患者が行っています。私の率直な意見ですが、北播磨全体で考えてほしいのですが、消防本部はついこの前まで加東郡であったと思うのですが、今は北播磨になっているのですね。個人病院で対応できない場合はほとんど北播磨総合医療センターへ担ぎ込まれていると聞いています。そういうことを加東市民病院・北播磨・加西・西脇・多可日赤などトータルで話をされているのですか。</p>
部長	<p>救急問題については、北播磨健康福祉事務所が救急関係の会議をやっています、その中で連絡調整は毎年あります。しかし救急ということでは難しい面もあり、このごろ、救急についても医師の診療領域が深く狭くなっていく傾向があり、専門領域から外れると診ていただきにくいということもあります。北播磨医療センターはER型といまして、どんどん受け入れていって、それを各診療科に振り分けがされるということ聞いていますが、まだ始まったばかりでうまく運用できていないということも聞いています。ただ、西脇病院にしても加西病院にしても加東市民病院にしても救急告示を受けていますので、対応できる救急患者に対しては、どの病院も協力して対応しているという状況です。</p> <p>今後、北播磨総合医療センターも充実されていくのではないかと思います。</p>

委員	<p>在宅医療は国の施策としてもこれからどんどん推進されるところです。急性期の医療は近隣どこでも行っているのに、ベッド数も十分充足しているという中で、加東市民病院が在宅医療推進を重点目標として置いているというところはおおいに賛同しています。</p> <p>P27の保健医療、福祉の連携というところで、まだ主要施策の目的概要が出されてないのですが、在宅医療を考えるときに、切れ目のない連携のところが重点的に、加東市民病院として施策をあげていただくようお願いします。</p>
部長	<p>各委員様のご質問のとおり、国においても在宅医療と介護を推進する方向で制度改正が今年なされようとしています。医療と介護と福祉の切れ目のない連携を図っていくということで、3月の議会に提案させていただく予定をしています。福祉との連携をさらに強化するというので、地域包括支援センターとの連携も視野に入れた体制を組んでいく予定です。医療と介護と福祉を含めた連携を進めていきたいと考えています。</p>
座長	<p>政策Ⅳ『活力』に関して6件のご質問等をいただいておりますので、事務局よろしくお願いたします。</p>
委員	<p>◎政策Ⅳ『活力』 魅力ある資源を活かした 誇りのもてるまち 施策1 農業の高度化 主要施策(1) 農業の活性化 に関する質問(4件)の回答</p> <p>まず、安定した農業経営の中での減反廃止施策についてご説明します。加東市としましても突然降って湧いたような話でして、具体的な説明はなかったのですが、市としましては生産調整の中で昨年から取り組んでおります酒米を中心に、どうやって枠内にするかと調整していた矢先に国の方から突然こういった話がありました。</p> <p>かといって、26年度、1反当り18,000円が半額になって5年間続くであろうという程度の情報しかありませんが、この分については枠内で農会長さんを中心に各地区で生産調整を行っていただいておりますので、そのあたりの目途がつき次第、国の考えを、県を通じて確認していきたいと思っています。</p> <p>2点目については地産地消の意識ですが、道の駅の農産物直売所で、地元で採れた野菜を出して、できるだけ地元で消費できるように、又周辺の方にも食べていただけるようにという思いで進めていますが、地産の部分で作っていただく方の体制整備が難しいのが事実です。道の駅とうじょうで営業していただいている直売所にしても、種類は多いのですが、量と質の点ではまだまだこれから勉強していかなければならないという点があります。この辺りはJAみのりさんにも今年度新たに野菜を作ろうという方への、普及センターの技術提供をいただきながら進めようとしています。しかし、加東では参加者が少なく、今年からのスタートは無理なようで、来年度からのスタートをお願いしています。そういったことを通じて地産地消の意識を高めたいと思っています。</p> <p>3点目ですが、農業経営に関しまして、いろんな情報交換など具体的に取り組んでいるのかという質問ですが、現時点では国とか県が主催するセミナーなどで</p>

	<p>の情報交換になります。特に担い手とか有害鳥獣対策、耕作物等については、最近からの取組ですので、そういったセミナーなどで出会った機会を通じて、それぞれの先進自治体等に直接内容の確認などをさせていただきたいと考えています。</p> <p>4点目の大規模農家の競争力を高めるということで、法人とか企業さんの農業産業についてですが、この点については農地・農業を守っていかなければならないのですが、担い手がなかなか確保できない現実があり、ありがたい話と思いつつも、正直なところ現在、企業・法人が農業に参入していただくときには、農地を借りていただいてやっていただく仕組みになっており、今後借りるのか、農地を企業として取得して参入されるのかというところは様子を見ていきたいところです。全体としては農業法人等が地域に参入していただく点については前向きに考えていきたいと思つています。</p>
部 長	<p>施策2 森林の保全・活用 主要施策(1) 森林の保全と活用 に関する質問の回答</p> <p>緑の保全活動ですが、市全体としては、ゴルフ場や山林分譲(別荘地開発)の区域が広いものですから、自分たちで守ろうという意識が昔と比べて薄くなつていふと思つています。その中で、日本生命や富士通などの企業が地域貢献活動として環境保全活動に取り組んでおられます。こちらも一緒に参加させていただいて、伐採等をやつていく中で具体的に明確にさせていただき、グループ支援を中心に里山保全に努めていきたいと思つています。</p>
部 長	<p>施策3 地域産業の活性化 主要施策(1) 地域産業の活性化 に関する質問の回答</p> <p>ケナフは繁殖力が強く、環境に良いという内容ですが、ただ、遊休農地を使つて試験的なケナフを栽培するということになりますと、ケナフそのものは転換作物として捉えられれば、もう少し方法があるかもしれませんが、このあたりについては、もう少し様子をみながら考えたいと思つています。</p>
座 長	<p>政策Ⅳに関して提出された4つの説明が終了しました。再度質問等はございふすか。</p>
委 員	<p>NHKでやつていたのですが、おそらく埼玉だと思つているのですが、大宮方式というのをご存知でしょうか。その地域は株式の形を、地域全体でやろうということをやつていました。私は社のまち中で仕事をしてはいますが、まちがさびれていて、何かできないかと思つています。</p> <p>おそらく埼玉県の大宮だと思つているのですが、又一度お調べください。</p>
部 長	<p>大宮方式についてはこれから勉強させていただきます。</p> <p>先ほど言われていました農業の維持につきましても、前回の会議でも出ましたが、近くでしたら篠山あたりで農業法人化されてそれぞれの割り当てがあつて農地や地域を守つている。その中で雇用を生み出しているということがありますので、前回、お約束しましたように観光の振興と併せて、取組の基礎固めを考</p>

副座長	<p>みたいと思います。</p> <p>2番目について、TTP等の問題から非常にお米が余ってしまうのではないかとということが言われています。</p> <p>個人的なことですが、少し前にシンガポールに行った際、日本のデパートの食品売場では、日本のお米や野菜などの食べ物がどうかたちで流通しているのかわかりませんが、お米など非常に高価な値段で売られていました。今後の農業において、国内消費は限られています。そして、日本の人口はこれから増々減少していきます。現時点で米の消費は800万トンしか消費できていない。去年は780万トンぐらいしか消費されていないのでこれからもっと減っていくのではないかとことを政府も言っています。これからもどんどん作っていくのですが、国内ではなく、海外で物を売るといこと。今は商社のみが盛んですが、JA等においても国内商品、酒米などだけでなく、東南アジア等への輸出を本気で、市・JA・大きな法人等が行われたらと思います。日本の米は本当に優秀であり、高い評価を受けているのですから、その点を少し考えればなと思いました。</p>
委員	<p>輸出の話副座長からいただきましたが、農水省のホームページに輸出量が掲載されています。しかし、もう2年ほど前からデータが更新されていません。それまで増え続けているデータもそれ以降どうなったか分からない状態です。実際持っていこうとしている農家はたくさんありますが、現実的には難しく、持って行ってもほかの国では流通業者がきっちり決まっています、消費者の手に渡るまでにはものすごい金額が上乗せされているというのが現状です。できるだけ日本の国に人が集まるような体制がとれたら理想的かと思うのですが、漠然と思っているだけで分かりませんがいろいろ思うことはあります。</p>
副座長	<p>外国に販売網がなく、日本には大商社がたくさんあるのだからそこをうまくできないものかと。このままやっているとお米が余るに決まっている。</p>
座長	<p>政策V『快適』に関して5件のご質問等をいただいておりますので、事務局よろしくお願いたします。</p>
部長	<p>◎政策V『快適』暮らしと憩いが響きあう 心地よいまち</p> <p>施策1 まち並みづくり</p> <p>主要施策(1) 土地利用・まち並み整備の総合的推進 に関する質問①の回答</p> <p>一つ目の建設部の今後の進め方ですが、市民が中心となって、協働して街並みづくりを考えています。その中で平成25年度から進めていますのが大きく二つあり、一つは地区計画です。これは、ある特定した区域の土地の利用の仕方、あるいは建物の建築について一定のルールを決めていくということです。実際には東条地域の天神袴鹿谷土地区画整理事業をしていますが、その区域で地区計画を定めつつあります。もう一つは特別指定区域制度です。これは、市街化を抑制する市街化調整区域という区域が加東市内に37地区あります。調整区域は、建物を建築するにあたって厳しい規制があります。農業倉庫しか建てられないとか農家住宅しか建てられないという厳しい規制があり、それを少しでも緩和すると</p>

	<p>いう中で、平成20年に地縁者の方であれば一般住宅が建設できるようにしようという区域を設定しました。</p> <p>進め方として37地区に対し説明会を行い、地縁者の方だけでなく、加東市以外からどなたでも指定した区域に転入し、住宅を建てられるようにという区域指定をしてはどうか、という提案をしています。</p> <p>この地区計画あるいは調整区域の特別指定区域制度の活用は、加東市の方が一方的に指定するのではなく、地域の住民の方が中心となって、どのエリアでどう決めていこうかと考えていただく。最終決定するのは兵庫県ですが、我々はそれを受けて、ご相談させていただき、地域の活力になるよう、人口減少に歯止めがかかるようご提案させていただいています。</p> <p>地区計画は具体的に進んでおりますが、平成25年度で完了させる予定です。</p> <p>特別指定区域制度については、平成25年度に第1段の説明会をいたしました。平成26年度に37地区すべてに再度説明をさせていただき、平成27年度以降に整った地区から県の方へ申請していくことを考えています。いずれにしても、住民の方、地域の方が中心になってそして協働していくことを進めています。</p>
部 長	<p>施策1 まち並みづくり</p> <p>主要施策(1) 土地利用・まち並み整備の総合的推進 に関する質問②の回答</p> <p>緑化活動につきましては、個人の方、一人ひとりの活動を含めれば、満点に近いと思っています。沿道緑化と合わせれば農村の環境保全ということで、農地・水の環境保全活動の取組を市の方でも並行しています。それは農家の方だけではなく一般の方も参加いただきながら農水環境を整備していくという活動です。</p> <p>花と緑の協会組織が春と秋にイベントとして「さつき展」や「菊花展」を行っていますが、今、大きな課題としては、そういったことへ興味を持っていただく市民の方を一人でも増やすことです。どういった栽培方法をするのかなど、花と緑の協会の方で取り組んでいただいております。このような活動を大事に進めていきたいと考えています。</p>
部 長	<p>施策4 情報通信サービスの充実</p> <p>主要施策(1) CATVなどによる行政サービスと市民交流の促進 に関する質問の回答</p> <p>ケーブルテレビについては、二十数年間にわたり、市が運営しています。二十数年も経過すると老朽化が進み、機器の故障に伴っていろんなサービスの停止が見られるようになりました。また一方、平成25年度4月以降ケイ・オプティコムやNTTなどがサービス展開を急速に進めていく中、市のケーブルテレビを利用されていたインターネット加入者、BS、CS放送加入者の減少が顕著になってきました。今後のケーブルテレビにおきましては、市の貴重な情報通信基盤であるのは当然ですが、インターネット、BS、CS放送、光電話は民間にお願いして、市民の多様な情報化にタイムリーに答えていこうというのが一つです。</p> <p>もう一方、加東市の自主放送番組としては安全安心の情報を踏まえながら、継続してやっていこうということで、12月に承認をいただき、(株)ケイ・オプティコムと具体的に事業展開をすることになりました。今後の予定は、28年度中に市営のサービスが終わり、29年度から完全にケイ・オプティコムのサービスに</p>

	<p>移行することになります。その間、いろいろと説明会を行い、また加入についての手続きなど、広報を通じてお知らせさせていただく予定です。まず移行についての最初の説明会は6月から8月ごろに1年間かけて全地区を回りたいと思っています。それに伴い、今回の指標につきましては、これまで公設公営でケーブルテレビを整備していく方針で挙げさせていただいていましたが、運営方式が全く変わりましたので、指標の見直しをさせていただき、加入者数を当初7,800世帯から現在加入者の9,400世帯まであげさせていただくということです。現在の指標はパーセントですが、いずれにしても、ケイ・オプティコムの方へ番組サービスを移行するにあたっては、加東市全域でeo光のサービスが受けられる状況になりますので、加入率はキープして、また、それ以上に上げていくというのが今後の目標とさせていただきたいと思います。</p>
<p>部長</p>	<p>施策6 公共交通機関などの整備 主要施策(1) 総合的な交通体系の確立 に関する質問(2件)の回答</p> <p>加東市は神姫バスの路線が充実しており、たくさん市内を走っています。加東市で完結する路線もありますし、広域幹線路線もあります。加東市のまちづくりは広域バス路線に支えられていると言っても過言ではないと思います。ただ、どの路線についても利用者の減少が顕著になってきており、社清水線という路線についてはこの3月をもって廃止になり、市としましてもそれ以外の対応をやっているところです。公共交通をどのようにすれば市民の方にもっと利用していただけるのか、このような路線形態で良いのか、料金体系はどのようなのかなど、これまでは神姫バスとこういって話をさせていただく機会がなかったのですが、ここ数年積極的に神姫バスさんとお話をさせていただき、新たな路線や料金を工夫しながら、多くの方に乗っていただきやすい路線を目指してやっています。ただ時間がかかる事業ですので、一年ぐらいの期間をもって事業調整をする必要があります。</p> <p>取組は色々ありますが、米田地域においては地域の方が主体になってやっていたりしている自主運行バス、また鴨川地域も26年度からスタートする自主運行バスを工夫しながらやっていきます。そういうことによって環境に取り組むことに大きな効果が出てくるのではないかと思いますので、乗ってもらいやすい路線はどのようにしていくのかということなど、これから積極的に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>バス停については、ここにもあそこにも欲しいというご意見がありますが、事業者としては、需要の状況を見ながらバス停を設置していくものだと思います。</p> <p>ただ、事業者として気付かない点があると思いますので、定期的に行うバス事業者との会議の中でこういったご意見を積極的に申し上げて少しでも便利に使っていただける公共交通になるように努めていきたいと思っています。</p>
<p>座長</p>	<p>政策V『快適』に関して提出された質問等について説明が終了しました。委員の皆様から、再度質問等はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>ケーブルテレビのことですが、最近うちにも来たのですが、eo光の社員の方が、eo光に変更してくださいと回って来られました。昨年暮れに加東ケーブルテレビ</p>

	<p>から eo 光に変わるので加入してくださいと来られていました。その時はこのことをあまり知らなかったので、検討するという事で帰っていただいたのですが、その時押し売りのように感じたのですが、市としてそこと提携され回っていいですよと OK をだされているのでしょうか。それとも業者が勝手に、加東市が eo 光を利用するという事でそういうデータを仕入れて回っているだけなのかを知りたいです。</p>
<p>部 長</p>	<p>加東市のケーブルテレビを民設民営でやろうと、平成 25 年の春ごろから具体的に決めていたのですが、その時にはケイ・オプティコムと NTT はそれぞれの営業努力の中で顧客の獲得をされていると思います。その流れの中でケイ・オプティコムと NTT を比較して、これから先 10 年間ケイ・オプティコムと加東市の情報化を進めていこうと決めました。ただ、営業については加東市とやるやらないにかかわらず、積極的にされていると思います。毎月打ち合わせをしていますので、過度、過激な言葉遣いをしての営業はやめてほしいと依頼します。最近ではそんなにひどい勧誘はないと思いますし、11 月か 12 月頃にケーブルテレビがこう変わりますというお知らせを全戸配布させていただき、2 月にそれについての番組をつくらせてもらっています。また、近く具体的にサービスや料金面などがどう変わっていくのかを、チラシを作成したり、番組で流すなど、市民説明会を夏ごろに予定しています。それらをご覧いただいてご判断をいただきたいと思います。決してケイ・オプティコムに加担して情報を提供しているというものではありません。</p>
<p>座 長</p>	<p>政策 VI 『協働』に関して 1 件のご質問等をいただいておりますので、事務局よろしく願いいたします。</p>
<p>部 長</p>	<p>◎政策 VI 『協働』多様なきずなが織りなす 協働のまち 施策 2 コミュニティづくり 主要施策 (1) 地域コミュニティの活性化 に関する質問の回答</p> <p>加東市については皆さんがご存知のように、ハード施設、ソフト施設について充足しており、インフラ面またはポテンシャルの非常に高いまちだと思っています。それらが有機的に連携して加東市のまちづくりに十分機能しているかというところは、疑問なところがあります。今回ご提案いただいている、地域づくりはまさに人材であったり、ハード施設であったり、それらをうまく作り上げていくことによって、元気なまちづくりに繋がってくると思いますので、従来ある公民館の社会教育の場、地域コミュニティの場だけではなく、地域発展の為の課題解決等に寄与できる機能をもたせ、人も対応していくという考え方で取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>座 長</p>	<p>政策 VI 『協働』に関して提出された質問等について説明が終了しました。委員の皆様から、再度質問等はございますか。</p>
<p>委 員</p>	<p>今の「公民館については、地域コミュニティの育成・醸成だけでなく、地域の課題解決に対応できる機能を付加する方向で検討していきます。」と回答されて</p>

	<p>います。私はいつもこういう場でいうのですが、小さな集会などは公民館でできますが、もっと大きな集会ですとかイベントなどをする場合、場所が狭すぎ、駐車場もない。そういうことをする場合は小野市の施設を利用することになり加東市でできないということが結構あるので、なんとか庁舎の近くにそういう施設をつくっていただけないか。これは今までに何度も言っていますが、なかなか実現されない。商業においても、展示会のイベントは多いが加東市では小さすぎて出来ない。そういうことでなんとか考えていただけないか。今回の話とは外れるかもしれませんがお願いします。</p>
<p>部 長</p>	<p>現在、別の視点でたくさんある公共施設のマネジメントを進めております。そういった中で一つだけではなく新しいものを活用したり、別のものに活用したりまた、新たなものを生み出していこうという視点で公共施設のマネジメントを考えておりますので、今おっしゃっていただいたお話もそういった中で具体化できる方向になれば、検討を進めていきたいと思いますが、庁舎の周辺のどこかにというポイントを指してという話は私の方からは差し控えさせていただきたいと思っております。そういう流れの中であるということをご理解いただきたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>庁舎と申し上げましたが、今活性化を目指しているB i oの近くでも、そういう集会ができる施設があればと思っています。</p>
<p>座 長</p>	<p>ハードな建設ということですが、そういったことも進めて頂ければと思います。</p>
<p>座 長</p>	<p>政策Ⅶ『実現に向けて』に関して4件のご質問等をいただいておりますので、事務局よろしく願いいたします。</p>
<p>部 長</p>	<p>◎政策Ⅶ『実現に向けて』まちづくりの目標を支える自主自律の行政経営 施策1 行財政の改革 主要施策(2) 人材育成と行政組織の活性化 に関する質問の回答 ご指摘の1点目、「市の職員数」に関しての指標について、現計画の中で一つの指標として挙げている状況の中で、その指標については検証していく必要があるのかということで、引き続き挙げていきたいと考えています。 ただし、第2次行財政改革中間とりまとめの観点からの行革指針としては、指標については不要と考え削除します。 また、新しい研修をつくっていく研修内容の指標を作ってはどうかということと、組織の横断的なプロジェクトチーム等の設置数を指標に挙げてはどうか、というご意見をいただいておりますが、研修については現在、市外への研修参加者数を挙げているのですが、もう少し視点を変えて、例えば、広域的な研修の講師になれる職員が何人出来たかというようなことも考えていく必要があるのかと思っています。また、横断的なプロジェクトの数となりますとなかなか、行政課題として取り組む部分で、どうやっていくのかはもう少し検討させていただきたいと思っています。ここに紋切りの表現をさせてもらっていますが、プロジェクトの数としての設定は、今回はしていかないという方向でお答えさせていただきます。</p>

<p>部 長</p>	<p>施策 1 行財政の改革 主要施策 (3) 透明で公正な行政の推進 に関する質問の回答 広報又はケーブルテレビが情報発信のメディアですが、まず地域情報として、区長さんに2月に一年間のいろんな情報を提供いただくことにしています。それらを参考に広報担当者やケーブルテレビの担当者が地域に出向かせていただいているのですが、それはそれとして、地域レポーターというのはユニークで面白い体制かなと思います。先進的に取り組んでおられるところに状況を聞かせていただきながら加東市としてどのようなものが地域レポーターとしてお世話いただけるのかということをお話を踏まえて前向きに検討していきたいと思っています。</p>
<p>部 長</p>	<p>施策 2 行政運営の推進 主要施策 (1) 適正な行政運営による市民サービスの向上 に関する質問①の回答 庁舎が統合される2月24日までは、旧3庁舎ロビーで、提案をいただく、また満足度を図らせていただくアンケート用紙と箱を置いていました。それらについては職員の接遇態度などの評価を受けています。「あいさつ、身だしなみ、言葉遣い、職務態度、説明の分かりやすさ」を5段階で評価してもらっています。合併当初は評価も低かったのですが、年々職員研修等を通じながら少しずつ上がってきています。ただ、今回2月24日をもって庁舎が一つになり、市民の方の目も厳しくなり、評価も厳しくなってくると思います。新庁舎につきましては正面玄関右側のロビーに掲示しておりますが、アンケートに反映するというよりも早急に対応すべきことが多いと思いますので、その都度適正な指導等をしていきたいと思っています。また、一年を通じて評価をホームページで公表しております。まもなく公表することになると思いますのでご一読ください。</p>
<p>部 長</p>	<p>施策 2 行政運営の推進 主要施策 (1) 適正な行政運営による市民サービスの向上 に関する質問②の回答 地域整備部では「道の駅とうじょう」を含めて4つの指定管理施設を担当しています。今回ご質問いただいた中で、使用料が業者側の収入になっているのかということについては、なっていません。すべて市の施設使用料ということになっています。したがって、目標を持って経営に取り組む中で、自分たちの努力したことが跳ね返ってこないということはお指摘通りだと思います。今回の2つの施設の中で「やしろ鴨川の郷」はゴルフ客や学生の呼び込み等を行っており、努力していますが、経営体制そのものをどう見直していくかという、大きな時期にきているのは事実です。レストラン撤退という実態もあります。そして「滝野温泉ぽかぽ」ですが、市の対応の中に挙げておりますが、周辺の観光施設との取組が大切であるということで、それぞれ集客数が減っているという共通の課題がある「播磨中央公園」との協働です。5年後の目標設定、利用客18万人、使用料収入年間9,000万円を目指します。数字を具体化させることで取り組んでいこうとしています。 最初に申しあげましたように、それぞれの経営形態が異なっており、道の駅と</p>

	<p>うじょうは株式会社組織の経営になっていますし、アクア東条については釣針協同組合です。鴨川の郷とぼかぼについては、地域が中心になっている協会組織運営となっています。今後、早急にやらなければならない内容としては、経営、収支がとれている指定管理施設とそうでない施設の差が大きいため、経営者同士が集まる機会を作ることで日々の経営をどのように捉えてやっているのかということと、今までの職員さんの接客やミーティングというところから方向を変え、施設長や駅長など経営の中心になっていただく方の集まりをすることで、課題を共有してどういったところを具体的に改善していくのか、具体的に攻めていくのかを考えていきたいと思っています。実現に向けて調整中です。</p>
座 長	<p>政策Ⅶ「実現に向けて」に関して提出された質問等について説明が終了しました。委員の皆様から、再度質問等はございますか。</p>
副座長	<p>最後の指定管理の問題ですが、やはり施設等において施設長は専門の方がいいのではないかと。販売でありますと大きなスーパー等に勤務されていたとか、そういう人材を充てることにより新たな展開ができるのではないかと思います。指定管理等についてはこういう意見が市民から出るということは、やはり行政もそうですが、最終的には意見が証明している事項なので、こういう意見もあるということを十分に認識していただきたいです。</p>
座 長	<p>基本的な質問ですが、各施設の運営者はどうやって収入を得ているのでしょうか。</p> <p>一定の手数料で、市から委託されて管理運営されているのか。全く何がどうなっているのか分からないのですが。ここに書いてあるように、業者の収入利益はどうなっていますか、業者モチベーションはどこにありますか。これは非常に重要だと思いますけど、儲かっても儲からなくても同じなのか、それともなんらかの成果主義的なものが入っているのかが分からないので教えてください。</p>
部 長	<p>指定管理者制度については管理運営ということですが、管理部分がどうしても重きになっており、運営部分・経営部分はどれだけの効果を出すかというあたりが大事になってくると思います。従来の指定管理の制度の前は、委託というかたちを持っていましたので、当然入ってきたものから差引計算のうえで、必要な経費を予算的にあげてというのが正直なところではないかと思っています。先ほど言われたように、捉え方ですが、管理については施設の管理になりますが、運営については汗をかいた分への見返りというのは、今は無いというようにとられる場合が多いのですが、収入を使用料として市の方へいったん入るかたちになっていますが、そこをどれだけ上げるかによって、実際、経営に携わっていただく方の人件費等を反映させるのかということも大事だと思います。先ほど道の駅とうじょうの件でご意見いただきましたが、私も含めそのあたりの意識はこれから植えつけなければならないと思っています。</p> <p>2～3年前から人事の件に関しては専門職の登用を積極的にやっていただいている事例があります。最初に申し上げましたように、今は必要な分については、足りない分を補正予算で対応し、増えれば市の方に入れていただくという単純計</p>

	<p>算でしかありません。そのようなことからモチベーションを維持するということに関しましては大きな課題であると捉えています。そのあたりをどう改善していくかということは、まず、意識改革の中からやっけていこうと思っていますので、十分な答えになっていないことはよく分かっているのですが、事情をご理解いただきたいと思います。</p>
座長	<p>私も勉強不足で分からないのですが、こういう事業をするのにモチベーションは非常に大事だと思うので、その成果が自分に跳ね返らないとやる気になれないというのは普通のことなので、根本的なことを考えていただいた方がいいと思います。</p> <p>また、人材育成と行政組織の活性化ですが、職員数は指標から省くということですね。違いますか？</p>
部長	<p>行財政改革の方から省くということです。</p>
座長	<p>職員数の指標を省くと、このシートから指標がなくなってしまう。外部への派遣研修の参加人数のシートだけになってしまうのですが、実際には庁舎内研修も行われているので、人の育成はすごく大切です。アンケートで適切、てきぱき、笑顔は研修の結果ですよ。こういう研修をやっている、小さな研修でも挙げるべきだと思います。もう一点は、プロジェクトですが、同じような項目でありながら担当部署はまたがっていますね。まさにこれが横断的プロジェクトだと思うのですが。こういうことについて、ここで答えの中ではプロジェクト同士で行った実績があると書いてあります。あるならそれを小さなことでもいいので目標値に挙げて実施すべきことだと思います。縦割り行政と言われるだけあって細かくわれているそれが弊害です。その弊害を少なくするためにはこういうのも指標で是正していくという目標をあげるべきではないか。職員数の指標が減る分、空欄に非常に重要な論点だと思うので、今から要望しますのであげられるのであれば、あげていただければと思います。</p>
部長	<p>全くあげないというわけではありませんが、このプロジェクトについては、今ここにあげてきてそれぞれ担当部長が答えています。実際はそれぞれ横断的にプロジェクトを作業チームでやっています。たまたま予算上、計画上担当している部長が答えています。それぞれの部署が横に繋がって仕事をしています。今、委員様方に審議していただいたことについても、作業としましては作業チームが横断的にすべての課がかかわって進めています。新しいプロジェクトチームをこれだけ作るという数字はなかなか難しく、今こういう横軸でやっていますという公表はできるのではないかと思います。</p>
座長	<p>数値化しにくいということですね。実際やっておられることをもっとアピールできればと思います。</p>
事務局	<p>今の件で確認です。この行革と総合計画の観点で部長から回答がありましたが、総合計画の指標については以前の説明の中で、この数値より多いのはダメであり、</p>

座 長	<p>少ないのもダメである。この数値が適正で必要であり、総合計画のこの指標は残すということ。反対に行財政改革の取りまとめの指標は削除するというので、今回の総合計画の指標についてはこのままで行くという確認です。</p> <p>私が勘違いしていました。これはこのまま残るということですね。それにしても少ないと思います。</p>
副座長	<p>ひとつお願いですが、この新庁舎が新しくなり、どの企業にしましてもクールビズをやっておられますが、クールビズにかこつけて服装が乱れてきているのではないかと。やはり地方公務員として、市民（お客様）に対応しないといけないのではないかと多くの方から聞きますので、よろしくお願いします。</p>
座 長	<p>それでは、24のご質問、ご意見をいただき、それらに対する説明をいただきました。前の方に遡って、総合して何かご意見、質問などはございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>医療の充実5ページになりますが、地域医療のサービスの充実の話で市民病院の訪問看護の話が出ていましたが、どこの指標にも小児医療については何も書いてありませんのでお聞きしたいです。また、地域医療という項目と安心、健やかで心が触れ合うやさしいまちという指標（表記）を見た時、どうしても加東市民病院が引っ付いてしまうだけで、他の項目がないがしろな気がします。もちろん少子高齢化なので高齢者の方を対象としていると言われてしまうと仕方がないのですが、高齢者だけでなく子供たちの医療にも目を向けた指標をひとつ取り入れていただくと、今から子育てしていく私たちにとっては有難いと思いますし、未来が明るく見えるので入れていただけたらと思います。</p>
部 長	<p>確かに高齢者ばかりでなく、小児医療ということも大切です。加東市民病院も小児科の医師は1名で、開業医さんも1診療所です。小児医療については、加東市民病院では入院は出来ていませんので近隣の病院で対応していただいているというのが実態です。今後小児医療というのは大切に捉えていきたいということを考えていますが、もう一つは小児医療だけでなく子育ての支援も含めて、健診や予防接種などの健康面を市民安全部と連携しながら、病院としてもできるだけの連携と協力をしながら子供たちの健康維持に進めていくべきだと思っています。医師不足がネックになっている部分がたくさんありますが、今の資源の中でやっていけたらと思っていますのでよろしくお願いします。</p>
座 長	<p>その他、ないようですので、協議2番目、次年度の取組について、事務局からご説明願います。</p>
事務局	<p>(2) 次年度の取組について</p> <p>こちらについては、資料等はございません。第1回目の市民会議でご説明して</p>

座 長	<p>いた内容の再度のご説明のお話になると思います。</p> <p>本年度につきましては、平成24年度の市の取組について、それぞれの指標に対する数値を基に自己評価したものに対して、委員の皆様から色々なご意見をいただきました。それらのご意見につきましては、その部門の責任者である各部長がお聞きしておりますので、積極的に参考にしながら、当然、市といたしましては検討を加え、今後の事務事業に当たってまいります。</p> <p>また、第1回の市民会議でもご説明いたしました、後期基本計画の計画期間は平成25年度から平成29年度の5か年間であります。</p> <p>そのため、本年度のこの市民会議では、第1回の市民会議でご提示したシート2及びシート3までは作成しておりません。</p> <p>平成26年度の市民会議からは、本格的に平成25年度事業の内容について、シート1、2、3を点検・評価、検証を行っていただくこととなります。</p> <p>7つの政策、37本の施策、52本の主要施策、それを構成する市の取組、いわゆる事務事業が、それらにぶら下がっております。この1年4回の会議の中でも感じられたと思いますが、量的にもかなりの量となっております。</p> <p>ですので、平成26年度のこの会議の進め方については、今後、座長と相談させていただきながら、検討し、あらためて皆様方にお諮りさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今後の進め方について、今事務局よりご説明がありました、何かご質問はありますか。</p> <p>次年度からの取組に関して、非常に多くの項目があります。今回だけでも非常に多いと感じられたと思いますが、1,000ぐらいあると思います。これをどのように我々の中で検討するのかについては今後調整させていただきたいと思えます。</p>
座 長 事務局	<p>4 その他</p> <p>最後に『その他』として、事務局からお願いします。</p> <p>本市民会議の委員様方の任期は、2年となっております。皆様方には昨年7月にご就任いただいておりますので、基本的には27年7月までの任期となっております。ただし、副座長の高瀬様におかれましては、区長会のご推薦で、区長会長というお立場でご就任をいただいておりますが、このたび、区長会長をご退任されたのに伴い、この3月末を持って、市民会議委員からも退任されることになりました。後任には新たな区長会長様にご就任いただく予定でございます。どうもありがとうございました。</p> <p>次年度、第1回目の市民会議につきましては、改めて先ほどの内容も含めまして検討を重ねたうえで、日程を調整して、ご通知をさせていただきますので、26年度についてもよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
座 長	<p>これで、本日の協議はすべて終了しました。長時間にわたりいろんなご意見を</p>

	いただき、ありがとうございました。事務局にマイクをお返しします。
	5 閉 会
事務局	<p>慎重なるご審議を賜りありがとうございました。</p> <p>閉会にあたりまして、副座長であります、高瀬様から、閉会のあいさつ及び退任のごあいさつを頂戴いたします。</p>
副座長	<p>私、3月をもちまして区長会長を退任いたします。私も後期五か年計画から関わり、そして加東市まちづくり推進市民会議副座長というポジションで、皆様と一緒に審議でき、また梅野先生には大変お世話になりました。そして皆様方には大変ご協力をいただきまして、この会議では非常に慎重な審議をしていただけたことに感謝しています。あらためまして、委員の皆様には厚くお礼を申し上げます。また、毎回市幹部の部長の皆様には、いろいろな意見に対して検討をしていただきましたこと厚く御礼申し上げます。これをもちましてこの会議を引退するわけですが、この地域に住んで居て良かった、このまちに住んで居て良かったと感じ取れるようなまちづくりを推進していきたい。そして今後も携わっていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>本日はお忙しい中、長時間にわたりましてご審議いただきありがとうございました。これをもちまして閉会とさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、閉会とさせていただきます。</p> <p>みなさま、お気をつけてお帰りください。どうもありがとうございました。</p>